

大教会の諸活動

▼月定例行事▲

- 4日 岡心勇隊佐賀地区
- 6日 大教会ひのきしん (岡谷・眞世・南沢)
- 8日 岡心勇隊奈良中和
- 9日 岡心勇隊五條橋本 (あやの台)
- 13日 岡心勇隊八幡地区
- 15日 大教会ひのきしん (道弘)
- 18日 岡心勇隊大阪地区
- 21日 大教会ひのきしん (相嘉)
- 22日 祭典準備ひのきしん
- 22日 大教会ひのきしん(表野・飛鳥川・岡秋)
- 22日 大教会役員会議
- 22日 婦人会伏せ込みひのきしん
- 23日 大教会月次祭
- 23日 婦人会話所ひのきしん
- 24日 大教会ひのきしん (東松浦・西北)
- 25日 話所ひのきしん日
- 26日 本部月次祭
- 30日 岡心勇隊姪浜会場

第一日曜日 おぢば伏せ込み団参 (午前中)

教務報

◆本部食堂ひのきしん(2月16日〜2月28日)
住之部 江里 智和

◆大教会人事

- ・おつとめ奉仕人(2月23日付)
- 忍海 岡橋 善教
- ・女子青年委員長(3月23日付)
- 飛鳥川 出口 奈々

◆教養掛

5月 福門 村田 継明

◆第129回教人資格講習会前・中・後期修了者

(2月27日〜3月13日)

◆別席願(2月16日〜4月15日受付分)

- 飛鳥川 出口 奈々
- 東志免 吉丸 理名
- 西北 森山 真由美
- 飛鳥川 出口 理々
- 飛鳥川 出口 太一
- 飛鳥川 畑 楠 彬一郎
- 飛鳥川 畑 楠 慧
- 瀧登 相場 ゆたか
- 岡 井上 和子

◆おさづけの理拝戴願

(2月16日〜4月15日受付分)

- 忍海 岡橋 アンディ 優太
- 上橋 藤本 光広
- 上橋 藤本 天道
- 教人登録
- ・3月8日付
- 須光 光武 大和
- ・3月25日付
- 飛鳥川 出口 奈々
- 東志免 吉丸 理名

立教一八六年 五月号 (四月二十三日発行) 岡大教会連絡報

岡大教会ホームページ



oka.or.jp

発行所
高市郡明日香村岡 395
〒634-0111

天理教岡大教会

電話 (0744)54-2002
FAX (0744)54-3889
E-mail info@oka.or.jp
186.4.23 / 050

POINT

今月のメッセージ

「何事もおやさまの御用向きと思って」



敷島大教会前会長・山田忠一先生から頂戴した「教えと実行2」を読ませていただき、学ぶ事がたくさんあります。その一つに、「お与え頂く御用に軽重があるのではなく、勤める人の心に軽重がある」という悟り方があります。「教会にも種々の役職や立場があるが、いかに重い御用を頂いても、それを受けて立つ者の心に喜びと感激と責任感がなければ、理の重みはない」とのご指摘は、実に的を射た話です。自分のこれまでの通り方を反省すると同時に、これはどんな場合でも通用する、大切な心の置き所だと思えました。

私は、何かする時には「おやさまの御用向きをさせて頂いているのだ」と、そう思うようにしています。そうしたら、何をしても喜べます。

ここに教祖がおられたら、きっとこうなさるだろう。散らかっていたら片づけられる。汚れていたなら掃除なさる。頑張っている人はねぎらい励まし、悩み苦しんでいる人がいたらたすけられる。そんな教祖に代わってさせていただく事ができたら、私は嬉しい。そう思って、何でもイソイソニコニコと明るい心で暮らしたいと願っています。

(吉田)

少年会岡団(蓮池弘之団長)は3月30日、大教会で「総会」を開催。少年会員114人を含む計245人が参加した。

コロナ禍の影響から一昨年は「集い」を開催し、昨年は規模を縮小して「総会」を再開。今年も未だに残るコロナ禍に対する不安がぬぐい切れないが、「どれだけの参加があるかは未知数。しかし、次代を担う子供たちのために、最大限の準備をしよう」と話し合いを進めてきた。

当日は、予想をはるかに上回る参加者で大教会は賑わい、少年会員の手でおつとめを実施。後半下りの「てをどり」は総立ちとし、「総会」に関わる全員でおつとめを勤めた。

午後のアトラクションでは、6種類の模擬店が出され、オープニングでは鼓笛隊の演奏も披露。抽選会も行われ、楽しいひと時を過ごした。

皆で一手一つに 笑顔あふれる「総会」を開催



少年会岡団



今光分教会 3代会長
吉原徳光氏 (69歳)
1月29日お出直し



警固分教会 6代会長
田原清明氏 (75歳)
4月7日お出直し

葬儀は井上明生・筑八分教会長斎主のもと、1月30日みたまうつし、31日告別式が天国社春日会館(福岡県春日市)で執り行われました。長年、教会長として道の御用の上に尽くされた氏の功績を讃え、感謝と敬意を込めて弔意を表します。

葬儀は大野真也・鶴城分教会長斎主のもと、4月8日みたまうつし、9日告別式が西日本典礼大宰府斎場(福岡県太宰府市)で執り行われました。参列した大教会長様は、弔辞をもって、6代会長として道の上に尽くされた真実に対する謝意を表されました。



心ウキウキ「春学」に参加



春色のおちばに学生が集う「春の学生おちばがえり（春学）」。大教会からは36人（学生会員22人）が参加し、28日には本部中庭で行われた式典に臨みました。午後の「直属アワー」も大いに盛り上がりました。

AUS 布教隊による模擬店



オーストラリアを布教地に活動を展開して11年目を迎える「オーストラリア布教隊」。4月18日の教祖誕生祭に併せて、4年ぶりに模擬店を実施。多くの帰参者が模擬店を訪れ、賑やかな雰囲気にも包まれました。

大教会春季霊祭を執行



今年から、24日に執り行われることとなった大教会の霊祭。祭儀では、大教会長様祭主のもと、祖霊様の御前で祭文を奏上。大勢の参拝者が先人のご遺徳を偲び、ご功績にお礼を申し上げます。

婦人会総会に向けた準備



4月19日に開催される「婦人会総会」を目前に、婦人会岡支部では婦人会はっぴの紐を取り付けるひのきしんを実施しました。総会に参加する方を思いながら、一つひとつ丁寧に作業を進めます。

ぜひ、友達登録してください

天理教岡大教会
LINE 公式アカウント

様々な情報を配信します。
ぜひ友達登録してください！



▲「練成会」に参加した中学生の教会子弟14人（写真左）。教理にふれ、鳴物練習にも取り組んだ（写真右）。

大教会

仲間と共に信仰を深めた4日間 次代を担う教会子弟の練成会を実施

「親神様、教祖について深く知ることができた」、「楽しく、学びの多い子弟練成会だった」、「親神様、教祖への感謝の気持ちを感じた」、「今回の子弟練成会で、自信を得ることができた」、「おつとめの大切さを学んだ」――。

少年会岡団総会終了後の3月30日夕刻より開催された、「教会子弟練成会」。今回は九州、関東、関西の各地から対象の中学生14人が参加し、4日間のプログラムで教理を学び、信仰を深めた。

教祖年祭活動の一年目ということもあり、今回の練成会は「教祖」と「先人の足跡」をテーマに実施。おちばでひのきしんを行ったほか、記念建物と教祖誕生殿を見学し、敷島大教会を参拝。教祖年祭についてのねりあいも実施した。

心と体が大きく成長する中学生。多感な時期でもあり、興味と活力に満ちる一方で、親子関係が難しくなる時期とも言われる。そんな彼らが参加した「練成会」では、先の感想が多くみられた。また、保護者からは「特別な体験をしてきた」という表情が見られ、成長を感じた。「信仰について親子で話す機会が少なく、練成会は貴重なチャンス。参加後の子供たちの姿を見て、同世代の仲間の持つ力の偉大さを感じた」との声が寄せられた。

大教会のおつとめ奉仕者を対象に「おつとめ勉強会」を実施

おてふりは 素直な心で基本通りに振る

大教会では2月24日の午前中、本部准員の田中勇文先生を講師に招いて「おつとめ勉強会」を実施。若手、を中心とした対象のおつとめ奉仕者25人が参加し、おてふりの研鑽につとめた。

当日は午前9時から正午にかけて、後半下りをお手直し。基本の手や、手を振る位置、足の運び方など、各下りごとに丁寧に指導を受けた。また、疑問点には積極的に質問し、田中先生が一つひとつ丁寧に指導くださった。

